

3 産業・交流

地域の魅力・活力があふれるまち

中小企業を支援し 地域経済を活性化

◎ 中小企業への支援

市内企業の大半を占める中小企業を支援するため、「中小企業振興計画」に基づき、創業や経営基盤の強化、受注や販路の拡大などを柱に、中小企業向けの資金融資や商談会の開催などの各種施策に取り組んでいます。

また、中小企業が直面する深刻な人手不足の克服に向けた総合的な対策「働き方改革支援プロジェクト」や、中心市街地の賑わい創出、回遊性の向上を図るための商業振興策を官民で連携して展開します。

地域の特性を生かした 魅力づくり

◎ 風早レトロタウン構想、 愛ランド里島構想



島しょ部の自然など、地域の魅力を再発見するイベントを開催

かつて「風早」と呼ばれた北条地域では、伊予の豪族・河野氏繁栄の足跡を残す歴史文化や鹿島・高縄山などの豊かな自然を生かして、活気あふれるまちづくりを目指し「風早レトロタウン構想」を策定しています。「昭和の賑わいを求めて」をテーマに、「資源活用」「環境整備」「情報発信」「交流促進」「協働推進」をポイントとした取り組みを進めています。

また、有人9島と多数の無人島からなる忽那諸島では、美しい景観や豊かな山海の恵みを生かして、持続的な発展と活性化を目指し「愛ランド里島構想」を策定しています。海上交通の利便性向上や活性化イベントの実施、お試し移住施設の整備による移住・定住の促進などの取り組みを進めています。

観光誘客と地域活性化

◎ 瀬戸内・松山構想

瀬戸内海が有する自然や文化の魅力を磨き、広島地域と松山の資源を組み合わせ

こころが いい、加減。

松山人が語る幸せの種



企業経営者

大藪 崇さん

瀬戸内の島を核に、 産業や交流の新しい風を

食であったり、物であったり、自然であったり。日本全国にその地域にしかない宝があります。私はそうした地域の資源を掘り起こし、付加価値を与えて広めるという事業に取り組んでいます。産業や交流を考える時、こうした資源は大きな力となるはず。今、私が松山の宝として注目しているのが忽那諸島。瀬戸内海に大小さまざまな島があり、それぞれに歴史や風景、営みなどの魅力が満ち溢れています。外に向けて発信することはもちろん、海外旅行客を含めた人々を迎え入れることにも可能性を感じています。瀬戸内の島を核に、産業や交流の新しい風を吹かせることができればすてきですね。



瀬戸内海道1号線(広島—松山定期航路)

持続可能な農業を構築

◎ 農林水産業の振興

農林水産物が安定的に生産できる体制作りを支援するとともに、産品の高品質化や高付加価値化に取り組みます。「紅まどんな」や「グニニューカリ」をはじめとするまつやま農林水産物ブランドの販路拡大に取り組むとともに、アボカドの産地化を図ります。またイノシシなどによる農作物被害防止策や支援を拡充するほか、新規就農希望者などを支援し多様な担い手を育成します。



大田市場では市長自らトップセールス